

「あったらいいな」を形に！
水と油と高分子を駆使する科学のスペシャリスト

会社説明会資料

M O R E S I C O

(登記社名：株式会社松村石油研究所)

Matsumura Oil Research Corp

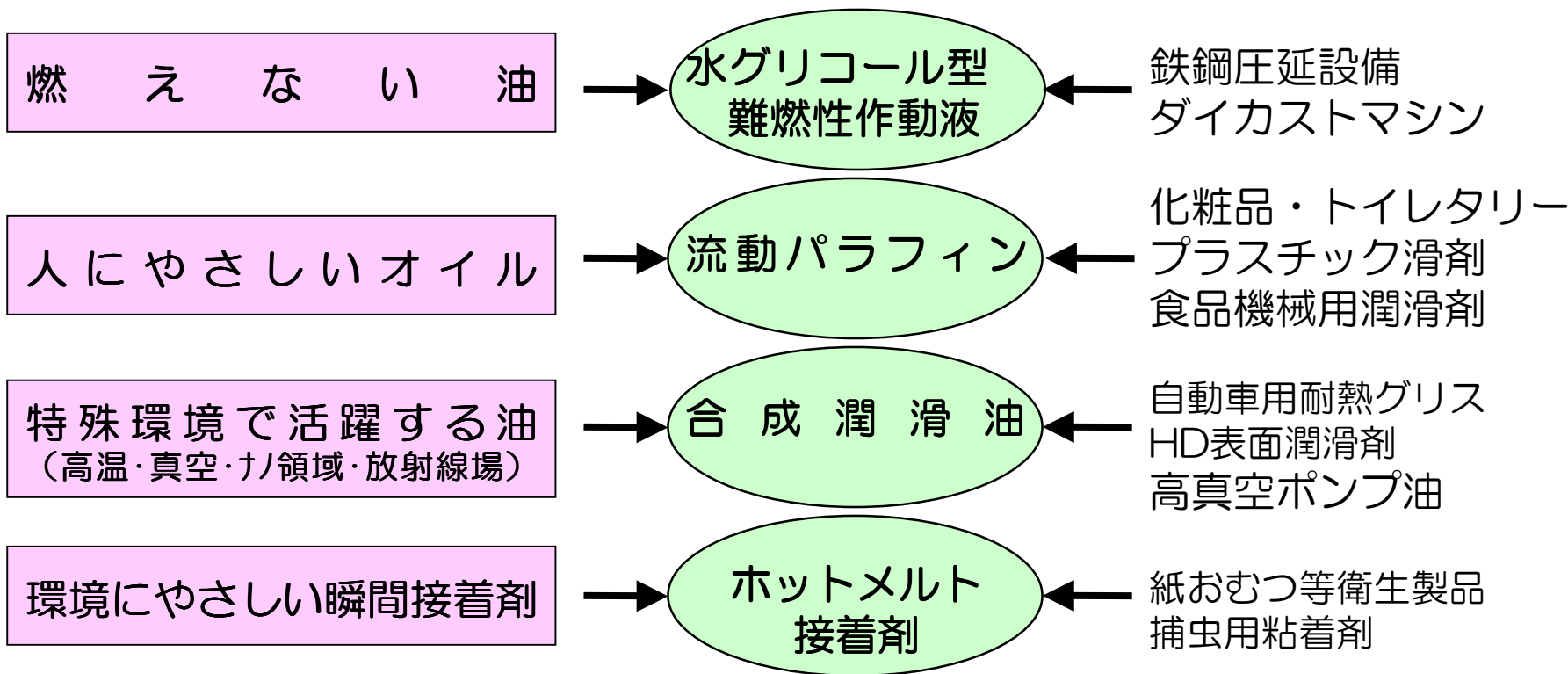
<http://www.moresco.co.jp/>

JASDAQ 5018

2004年2月

「あったらいいな」を形に！

水と油と高分子を駆使する科学のスペシャリスト



会社概要

MORESCO のプロフィール
沿革 ・ 主要株主
売上高と利益の推移
セグメント別売上高
生産能力

MORESCO

(登記社名：株式会社松村石油研究所) Matsumura Oil Research Corp.
神戸市中央区港島南町五丁目5番3号

設立	1958年10月
代表者	中野 正徳
従業員数	189人 (2003年2月末日現在)
資本金	376.5百万円
事業内容	素材、特殊潤滑油、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売及び賃貸ビル事業
施設	本社・研究センター (神戸市中央区) 千葉工場 (千葉県市原市) 赤穂工場 (兵庫県赤穂市) モレスコ本町ビル (大阪市中央区)
関連会社	国内3社 (連結子会社3社)、海外3社 (連結2社、持分法適用1社)

沿革

- 1907年 松村善蔵氏が神戸市兵庫区に潤滑油の専門店「丸善砒油部」を創立
- 1933年 丸善砒油より生産部門を分離し、丸善石油(株) (現 コスモ石油) を設立
- 1950年 丸善砒油を松村石油(株)に社名変更
- 1958年 松村石油(株)より分離独立し、(株)松村石油研究所を創立
本社 (西宮市) 工場で高真空ポンプ油を商品化
- 1962年 水グリコール型難燃性作動液を開発
- 1966年 千葉工場建設、流動パラフィン、石油スルホネートを量産化
- 1979年 合成系高温用潤滑油を開発
- 1986年 赤穂工場建設、ホットメルト接着剤を事業化
- 1995年 生産拠点としてタイ王国にMORESCO(Thailand)Co.,Ltd. 設立
- 2000年 IT分野・環境関連分野をターゲットに研究開発体制を再編
- 2001年 神戸ポートアイランドに本社・研究センターを建設・移転
- 2001年 中国無錫市に台湾企業と合併で無錫徳松科技有限公司を設立

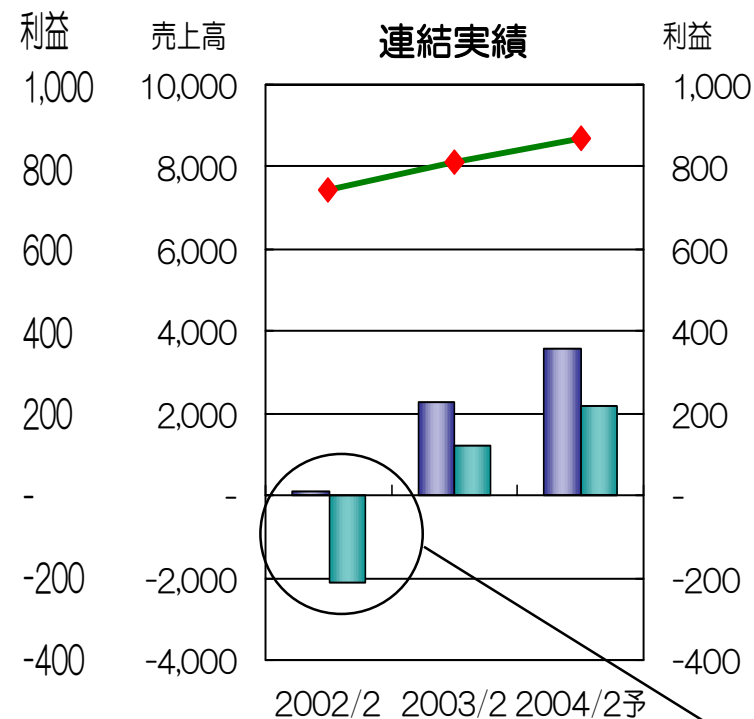
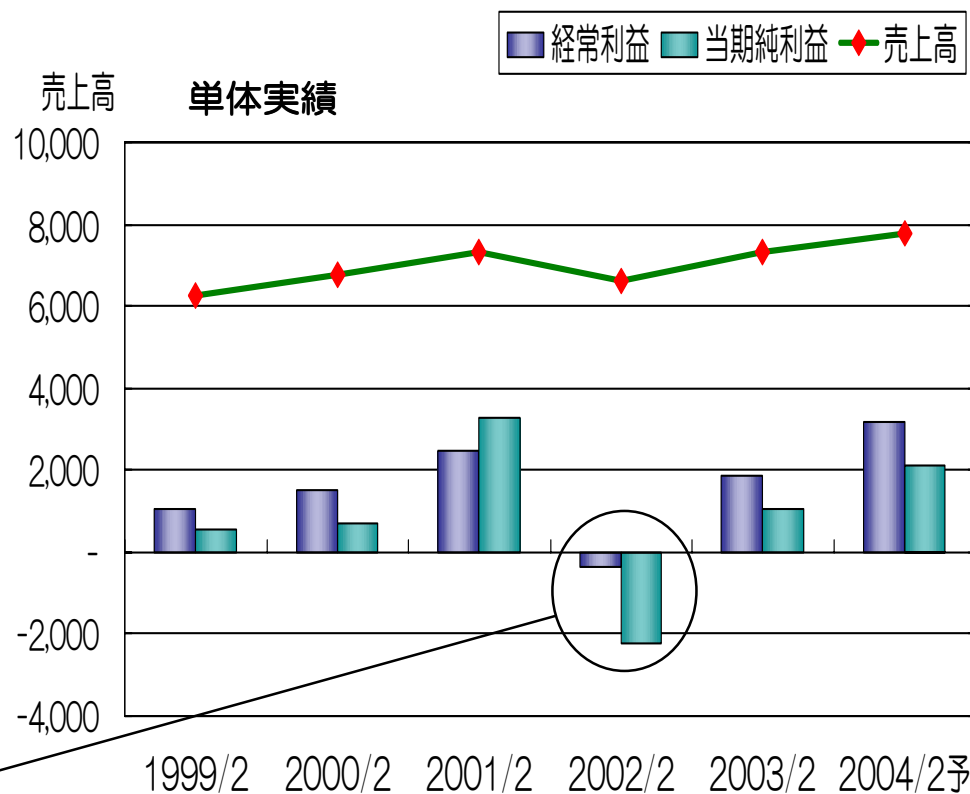
主要株主

松村石油(株)	18.2%
コスモ石油ルブリカンツ(株)	8.8
大阪中小企業投資育成(株)	8.4
日本曹達(株)	6.6
エヌエヌ・ケミカル(株)	5.8
三菱商事(株)	5.8
(株)みずほコーポレート銀行	4.5
(株)UFJ銀行	4.5
日本興亜損害保険(株)	4.1

(2003年8月末日現在)

売上高と利益の推移

単位：百万円



本社及び工場移転

特別利益1,324百万円（固定資産売却益、移転補償費等）

特別損失1,036百万円（固定資産除却損、譲渡移転特別費等）

退職給付会計を導入

退職給付会計移行時差異344百万円を特別損失として計上

事業セグメント別売上高と化学品部門別比率

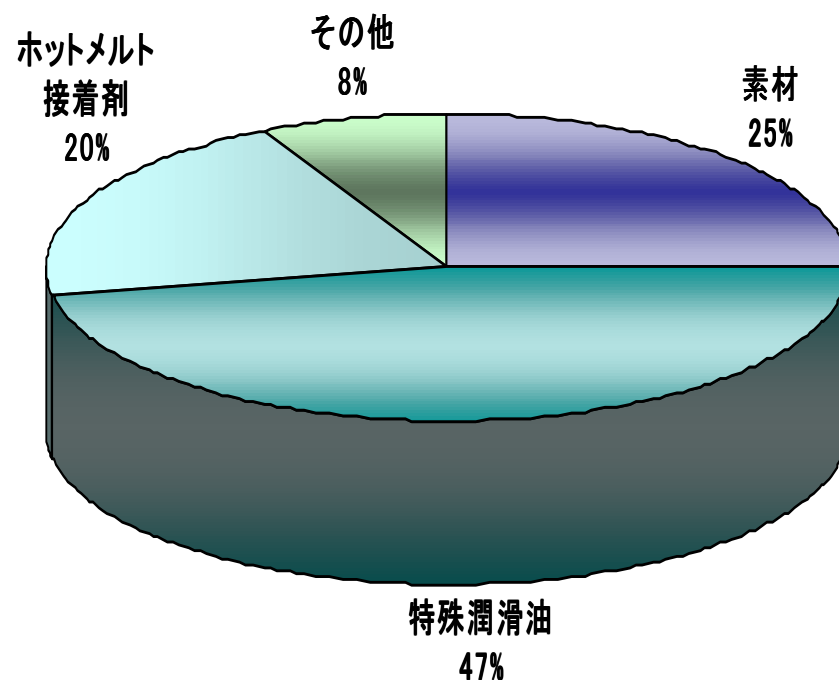
売上高

2003年2月期

単位：百万円

事業セグメント	連結 売上高	比率 (%)
化学品事業	8,084	99.4
賃貸ビル事業	46	0.6
合計	8,131	100.0

化学品事業・部門別売上比率



生産能力

単位：kl、t/月

工場名	所在地	製品種別		
		素材製品	特殊潤滑油	ホットメルト 接着剤
千葉工場	千葉県市原市	2,000	—	—
赤穂工場	兵庫県赤穂市	—	2,800	500
MORESCO (Thailand) Co., Ltd.	タイ王国 チョンブリ県	—	400	—
無錫徳松科技有限公司	中国・無錫市	—	300	600
合計		2,000	3,500	1,100

主要な事業

素 材 部 門
特 殊 潤 滑 油 部 門
ホットメルト接着剤部門

関 連 事 業 部 門
海 外 事 業 部 門

素材部門

流動パラフィン
モレスコホワイト

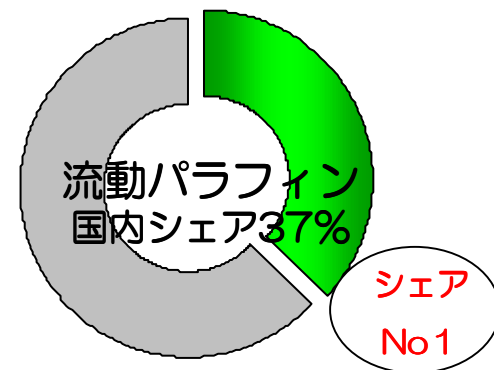
精製流動パラフィン
モレスコバイオレス

石油スルホネート
スルホール

合成スルホネート
モレスコアンバー

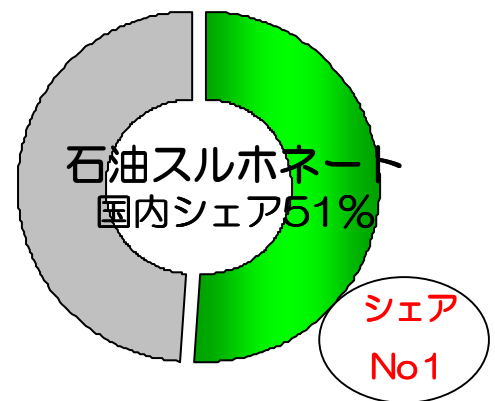
● 流動パラフィン

- 無色透明、無味無臭で飽和炭化水素からなるオイル、日本薬局方、食品添加物規格、化粧品原料基準をクリア。
- 安全性、クリーンな特性が、環境・安全・衛生という社会が求めるニーズにフィット。
- 化粧品・トイレタリー用基剤、プラスチック滑剤、食品機械用潤滑剤などに使用。

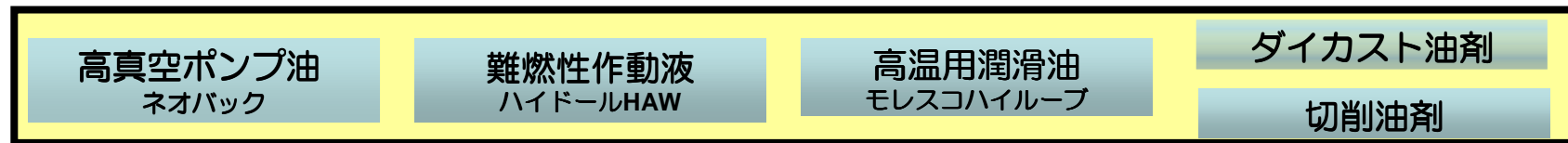


● スルホネート

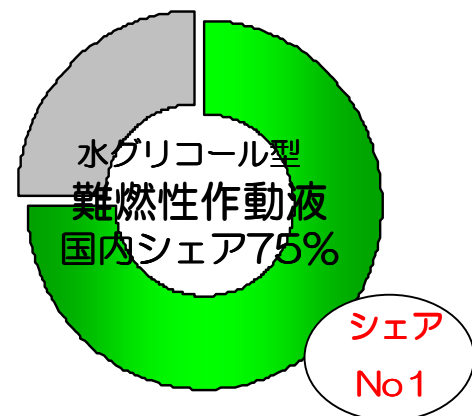
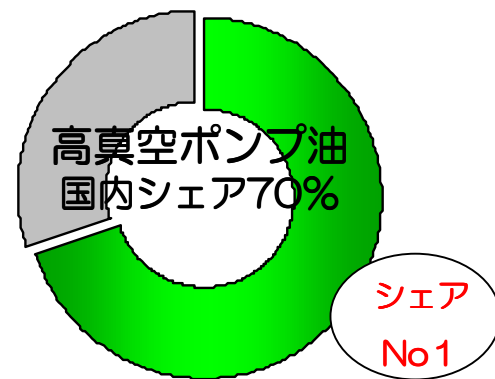
- 優れた機能を備えた産業用の界面活性剤で、金属加工油、エンジン油や防錆油の添加剤として使用。
- 石油スルホネートの世界的な品薄から、当社製品への需要拡大が見込まれる。



特殊潤滑油部門



- 高真空ポンプ油**
 - ネオバック は高真空ポンプ油の代名詞。
 - 半導体業界、液晶業界、家電業界など、広い分野で使用。
- 水グリコール型難燃性作動液**
 - 火気の近くで使用される油圧機器の作動油として使用。
 - 火災や爆発事故を防ぐ、安全な難燃性作動液。
 - 鉄鋼業界の圧延設備や自動車業界のダイカストマシンで使用。
- 高温用潤滑油**
 - 高温下で作動する機械装置のチェーンや軸受の潤滑油として、優れた耐熱性を発揮。
 - 自動車のエンジン周り等で使用される耐熱性グリス基油、音響機器用モーターの含浸軸受油などに使用。



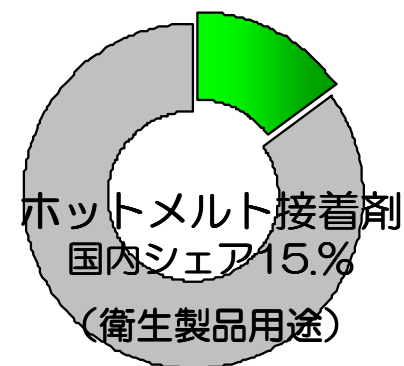
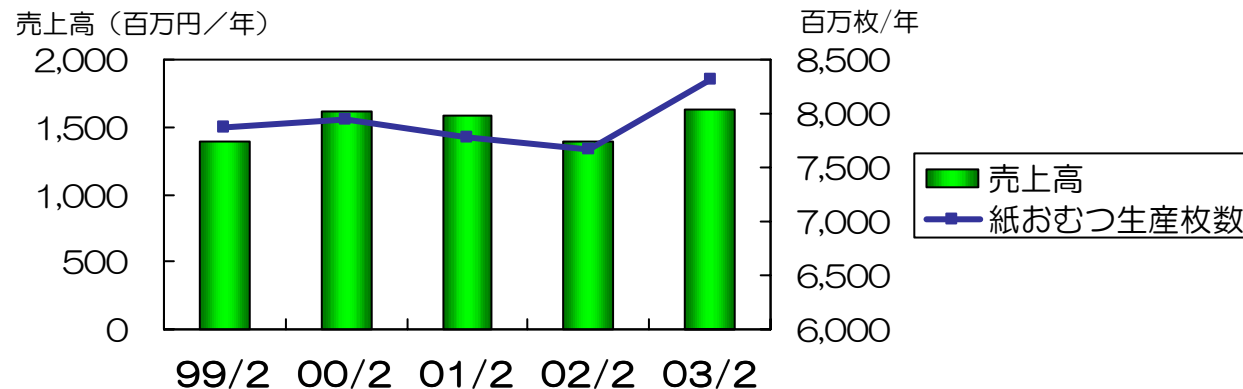
ホットメルト接着剤部門

ホットメルト接着剤
モレスコメルト

• ホットメルト接着剤

- 熱可塑性樹脂を主成分とする接着剤。無溶剤であり安全性に優れる。
- 紙おむつなどの衛生製品用、ダンボールの封緘、発泡スチロールなど緩衝材の接着、自動車部品・家電製品の組み立てなど、広範な分野で使用。
- 特に、当社は紙おむつなどの衛生製品分野で国内シェア15%。
- パッケージレス・ホットメルト接着剤「ネオコート」を開発し、ユーザーの“ゴミゼロ”に貢献。

当社のホットメルト接着剤売上高と紙おむつ生産枚数



関連事業部門

株式会社マツケン

設立 1973年3月
 従業員数 26名
 売上高 1,275百万円(2003年2月期)
 経常利益 20百万円

事業内容

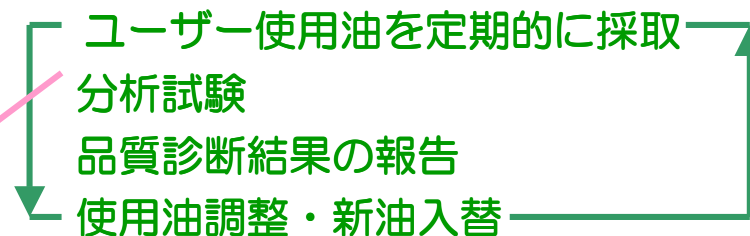
- ・ 当社製品の国内販売
- ・ 水処理装置、薬剤の販売・レンタル
- ・ 洗浄機、洗浄剤の販売

株式会社モレスコテクノ

設立 1992年3月
 従業員数 7名
 売上高 136百万円(2003年2月期)
 経常利益 7百万円

事業内容

- ・ 潤滑油管理 (水グリコール型難燃性作動液)



登録機械台数 11,000台
 潤滑管理試験件数 1,000件/月

- ・ 環境計量証明試験
- ・ 潤滑油管理関連機器の製造・販売

海外事業部門

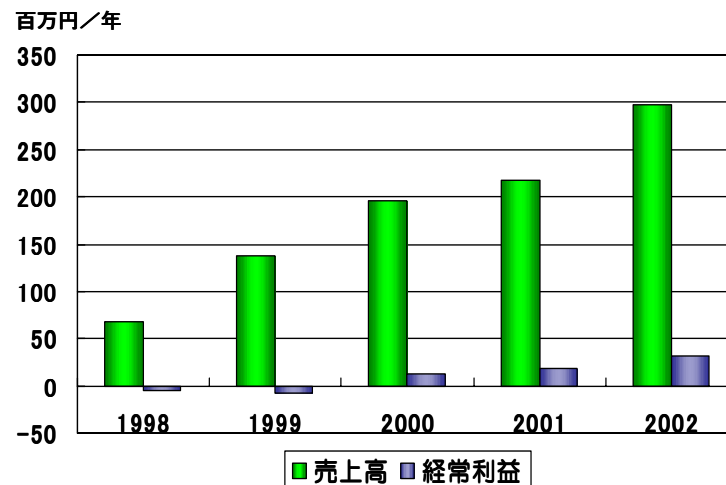
MORESCO (Thailand) Co., Ltd.

設 立 1995年7月
 事業内容 特殊潤滑油の製造・販売
 従業員数 31名
 売上高 296百万円 (2002年12月期)
 経常利益 31百万円
 敷地面積 8,700m²
 延床面積 2,500m²
 生産能力 400KL/月

- ・タイ王国内や近隣諸国の需要増に対応して2001年7月、本社工場をバンコク郊外のチョンブリ県に移転、拡張
- ・日本国内同業他社品のOEM生産



業績の推移



海外事業部門

無錫德松科技有限公司

設立 2001年5月

事業内容 接着剤・特殊潤滑油の製造販売

従業員数 40名

売上高 53百万円(2002年12月期)

経常利益 △56百万円

(内開業費 27百万円)

敷地面積 20,720平方 m^2 延べ床面積 3,500平方 m^2

生産能力 ホットメルト接着剤 600t/月 特殊潤滑油 300KL/月

- ・台湾の接着剤メーカー徳淵企業股1分有限公司との折半出資の合弁会社
- ・2002年6月、中国江蘇省無錫市に本社工場を建設
- ・ホットメルト接着剤は、中国市場への供給と日本国内向けの生産
特殊潤滑油は日系自動車、弱電メーカー向けに供給

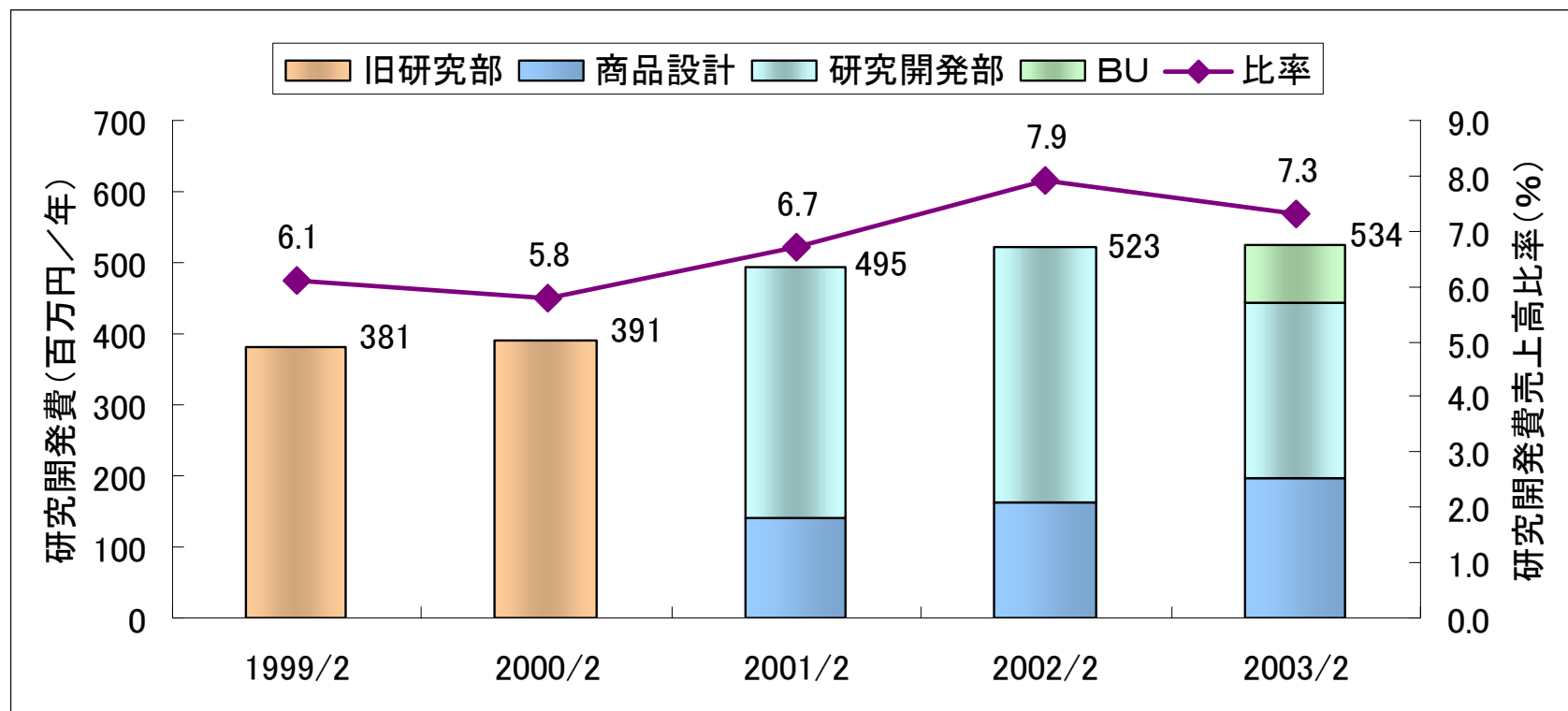


研究開発活動

研究開発投資
新製品売上高推移
特許の状況
研究開発・重点分野
主な研究開発の成果

研究開発投資

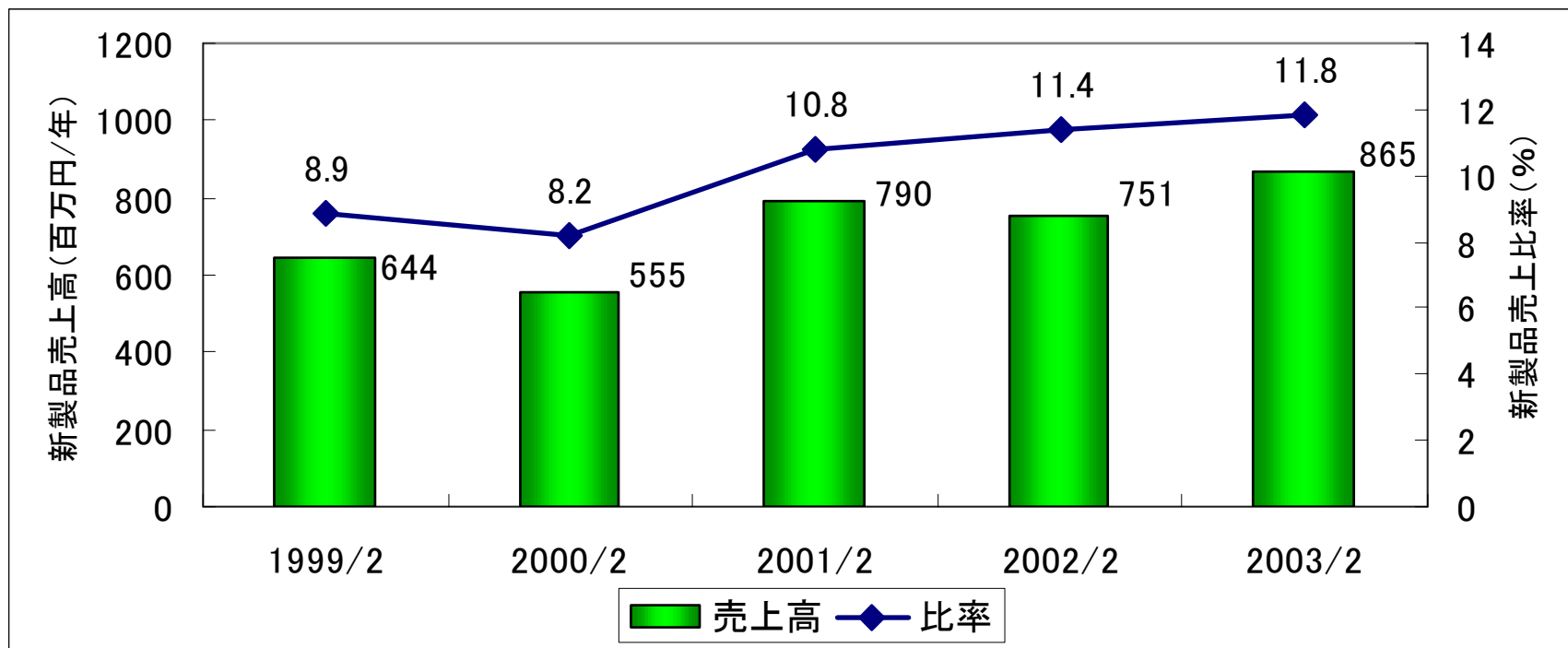
[単体ベース]



		1999/2	2000/2	2001/2	2002/2	2003/2
研究開発要員	人	33	33	43	47	45
全社員に占める比率	%	19	19	24	25	24

新製品売上高推移

[単体ベース]



特許の状況

02年度までの累積出願件数	国内	95件、	海外	31件
保有特許件数 (03年2月末時点)	国内	18件、	海外	4件

研究開発・重点分野

地球環境にやさしい製品の開発

<既存分野>

- リサイクル型難燃性作動液
- パッケージレス・ホットメルト接着剤
- ロングライフ型水溶性切削油剤

- [’02 販売開始、リサイクル設備設計]
- [’02 販売開始、適用品種拡大]
- [’03 販売開始、浄化装置の開発]

<新規分野>

- 光触媒・酸化剤を応用した排液処理装置
- 光触媒を応用した殺菌装置
- グルコン酸と酵素による洗浄剤
- 微生物による有機物分解

- [空調排液処理装置設計]
- [水耕栽培用実用評価]
- [’03 販売開始、用途拡大]
- [基礎研究]

情報機器関連分野への当社技術の活用

- ハードディスク表面潤滑剤
- ホットメルトを応用したシール剤
- 半導体ウェハのCMPスラリー

- [’01 販売開始、採用拡大]
- [技術開発・用途開発]
- [技術開発・製品開発・市場開発]

新体制以降の主な研究開発の成果

モレスコエポドール

「ハイドールHAW」の特長を維持したまま、ゼロエミッションというユーザーニーズに応えた、リサイクル可能な難燃性作動液。

‘02トヨタ自動車ダイカスト工場で採用され、グループ各社へ水平展開。

ネオコート

パッケージレスによる原価低減と、ユーザーでの作業性アップ、ゴミゼロを実現したホットメルト接着剤。

カッティング☆スター

工作機械から混入する鋳物油の分離性を大幅に向上した、合成系の水溶性切削油。消費量の低減と長寿命化を実現し、工場美化に貢献。

光触媒式水浄化装置

酸化チタンと酸化剤を組み合わせた、工場排液の処理装置。

酸化チタンの殺菌力を活用した、花と野菜の水耕栽培用殺菌装置。

モレスコホスファロール

ハードディスクの高速・高密度化に貢献するナノメートルオーダーの超薄膜潤滑剤。

ハードディスクトップメーカー各社が、新機種に採用決定。

次々世代の記録システムに対応する潤滑剤の開発に着手。

当社の取組みと今後の予定

経営環境変化への対応
公開の目的

経営環境変化への対応

高齢化

大人用“紙おむつ”の製造に
不可欠なホットメルト接着剤

高度情報化

ハードディスクの表面潤滑剤
CMPスラリー
情報機器用シール材

環境問題

既存製品の衣替え
流動パラフィン、ホットメルトの用途開発
光触媒の応用製品

国際化

タイ王国・中国に生産工場
台湾接着剤メーカーとの業務提携

公開の目的 = 第二の創業を目指す
ビジョン「小さくとも世界にきらりと光を放つモレスコグループ」

情報の広域
化・高速化

人材の確保

社員のモラ
ールアップ

資金調達の
多様化

研究開発のスピードアップ

国内外生産設備の充実

収益基盤の向上と長期的安定

顧客満足・株主利益・社員の生き甲斐

三位一体の発展を追求しスピーディーに実現

M O R E S C O

(登記社名：株式会社松村石油研究所)

JASDAQ 5018

<http://www.moresco.co.jp/>

IR窓口 078-303-9010 (総務部)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。